

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-----|------------|----|------|----|-------|-----|------------------|---------|-------|--------|-------|---|---|----|
| 学校番号 | 19 | 学校名 | 茨城県立小瀬高等学校 | | | | 課程 | 全日制 | | | 学校長名 | 中島 英俊 | | | | |
| 教頭名 | 藤田 さち子 | | 内田 寛 | | | | | | | 事務(室)長名 | 益子 正市 | | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 21 | 養護教諭 | 1 | 常勤講師 | 6 | 非常勤講師 | 4 | 実習教諭, 実習講師, 実習助手 | 1 | 事務職員 | 2 | 技術職員等 | 2 | 計 | 41 |
| 生徒数 | 小学科 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 合計 | | 合計クラス数 | | | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | |
| | 普通科 | 50 | 37 | 43 | 32 | 30 | 41 | | | 123 | 110 | 233(9) | | | | |

2 目指す学校像

地域に根ざす教育活動を一層推進し、将来にわたって地域に貢献できる有為な人材の育成に努める。多様な教育活動による基礎・基本の定着と自己の目標に応じた発展的学習を深めることにより、進路希望の実現を図る。豊かな自然と人情に育まれている子どもたちのために、美和・緒川・御前山の3中学校と本校が教育課程の編成や教員交流による授業、生徒間の交流などにおいて連携型の中高一貫教育を深める。そして、一人一人の子どもたちの能力や可能性を伸ばし、進路実現を図り、郷土を愛する心や21世紀を担う「生きる力」を培う。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|--------|---|------------------------|
| 学習指導 | 生徒が学習意欲が不十分であり、家庭学習が習慣化されていない。 | 自学自習への取り組みをどう進めるか。 |
| 進路指導 | 大学進学者の第一希望大学への達成率が低い。就職希望者の就職内定率が昨年度より低い。 | 進学希望者の実力養成にどう取り組むか。 |
| 生徒指導 | 遅刻者が一部の者に限られている。服装の整えることが不十分である。 | 生徒の規範意識の高揚をどう推進するか。 |
| 特別活動 | ホームルームの活動内容が不十分である。 | 生徒による自立的な取り組みをどう推進するか。 |
| 中高一貫教育 | 連携3中学校との教員交流が不十分である。 | 教員交流をどう拡大するか。 |

4 中期的目標

| | |
|---|---|
| 1 | 生徒が自ら意欲的に学習するために、また地域の要望に応じて、特色ある教育課程を編成するとともに、教科指導に関する研修を充実し、教育内容の改善を図る。 |
| 2 | 心の教育の充実を図るために、人権教育や道徳教育の充実を図る。 |
| 3 | 第一希望の大学合格を図るために、個人面接を密にし、継続的な課外指導を充実させる。 |
| 4 | 人間関係を円滑にし、生徒が生き生きとした学校生活を送れるよう、学校行事の内容の充実を図る。 |

5 年次ごとの重点目標

| 年次 | 重点目標 | 具体的目標 | 達成状況 |
|-----|--|--|------|
| 1年次 | 個々の生徒の学力の実態に応じたきめ細かな学習指導の実施。 規範意識の確立や人権尊重の精神の涵養を図る取り組みの実施。 3年間を見通した計画的な進路指導の実施 学校行事に全教職員が当たるなど、特別活動の充実。 | 英語、数学の少人数授業の実施とともに、英語・数学の教科においてシラバスを作成するなど教科指導の改善を図る。 全クラスにおいて、ボランティア活動等の体験活動に取り組みことやHR指導資料を活用したHRの充実を図る。 個人面談の充実や進路ガイダンスの充実、進路の資料「進路のてびき」の内容の見直しを行う。 合唱祭、クラスマッチ等の企画・運営を生徒中心にするなど、生徒の自主性を尊重した学校行事を実施する。 | |
| 2年次 | 興味・関心・進路希望に応じた教科・科目を選択し学習意欲を喚起する。 行事や部活動を積極的に取り組み、コミュニケーションの充実を図る。 資格取得と同時に就業体験等で勤労感・職業観を育成する。 中高一貫教育における中高教員の意志疎通を図る | 多様な科目から興味・関心、進路希望に応じた科目を選択し、履修のみならず修得するように授業展開を研究する。 計画・運営から行事への自主的・積極的取り組みを促すとともに、生徒同士が連帯感を持つよう指導する。 進路意識の高揚を促すためにも、意欲的に資格取得をめざすよう技能審査の単位認定を行う。 中高の教員によるTT授業やスポット的授業を通して、中高教員の連携を図る。 | |
| 3年次 | 進路希望の実現のための自主学習の充実。 社会人にふさわしい規範意識やマナーを体得する実践。 将来にわたって在り方生き方を考えた進路決定を促す。 地域の要望に応える教育課程の見直しや検討を実施する。 | 進路希望に応じた少人数授業等の実践を推進する。 企業・地域の方の講話等を通してHRや学年で、社会人としての常識やマナーを身につけさせる。 早期離職の無いよう、適性を尊重した進路選択（職種選択）を支援する。 多様な生徒の進路希望を見据えた教育課程編成を目標に見直しを推進する。 | |